

タッチパネル PC

LT-MS08 シリーズ ユーザーズマニュアル

Logitech

目次

取り扱い上のご注意	3
廃棄・譲渡時のデータ消去に関するご注意	9
ごあいさつ	10
本体使用上のご注意	11
1. 本体と付属品の確認	13
2. 各部の名称	15
3. バッテリーの取り付け / 取り外し / 充電	19
4. 目的に応じて設定を変更する	24
5. アプリケーションのインストール方法	34
6. その他の機能・設定	36
7. デスクトップクレードル (オプション購入された場合のみ)	40
8. 車載クレードル (オプション購入された場合のみ)	42
9. バッテリー充電台 (オプション購入された場合のみ)	46
10. トラブルシューティング	48

取り扱い上のご注意

本製品を正しく安全に使用するために

- ・本書では製品を正しく安全に使用するための重要な注意事項を説明しています。
必ずご使用前にこの注意事項を読み、記載事項にしたがって正しくご使用ください。
- ・本書は読み終わった後も、必ずいつでも見られる場所に保管しておいてください。

表示について

- ・この「取り扱い上のご注意」では以下のような表示（マークなど）を使用して、注意事項を説明しています。内容をよく理解しながら本文をお読みください。



この表示を無視して取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じる可能性がある項目です。



この表示を無視して取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う危険性がある項目です。



この表示を無視して取扱いを誤った場合、使用者が障害を負う危険性、もしくは物的損害を負う危険性がある項目です。



三角のマークは何かには注意しなければならないことを意味します。三角の中には注意する項目が絵などで表示されます。例えば、左図のマークは感電に注意しなければならないことを意味します。



丸に斜線のマークは何かを禁止することを意味します。丸の中には禁止する項目が絵などで表示されます。例えば、左図のマークは分解を禁止することを意味します。



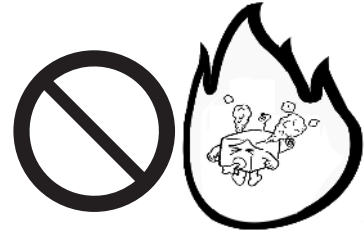
塗りつぶしの丸のマークは何かの行為を行わなければならないことを意味します。丸の中には行わなければならない行為が絵などで表示されます。例えば、左図のマークは電源コードをコンセントから抜かななければならないことを意味します。

⚠ 危険

バッテリーパックに関する注意

● 火中に投入したり、加熱したりしない。

発熱・発火・破裂・爆発の原因になります。



● くぎなど尖ったもので刺さない。また、衝撃を与えたり、分解改造をしない。

液漏れ・発熱・発火・破裂の原因になります。



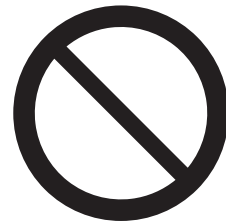
● 火のそばや炎天下、高温の場所での充電・使用・放置をしない。

液漏れ・発熱・発火・破裂の原因になります。



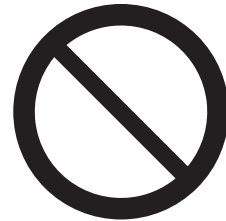
● 対応温度・環境以外で充電しない。

対応温度・湿度範囲外の充電は液漏れ・発熱・発火・破裂の原因になります。



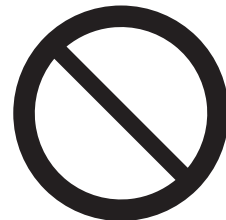
● 指定外のバッテリーパックを使用しない。

製品指定外のバッテリーパックを使用しますと液漏れ・発熱・発火・破裂の原因になります。



● プラス (+) とマイナス (-) を金属などで接触させない。

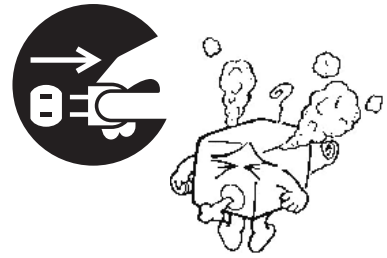
ネックレス、ヘアピンなどの金属といっしょに持ち運んだり保管するとバッテリーの端子が接触し、液漏れ・発熱・発火・破裂の原因になります。



警告

● 万一、異常が発生した時。

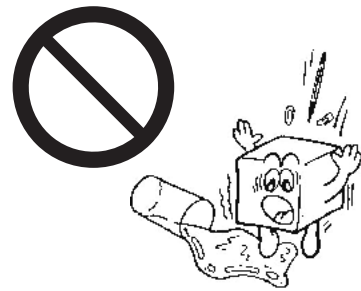
本体から異臭や煙が出た時は、ただちに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて弊社テクニカルサポートにご相談ください。



● 異物を入れない。

本体内部に金属類を差し込まないでください。また、水などの液体が入らないように注意してください。故障、感電、火災の原因となります。

※万一異物が入った場合は、ただちに電源を切り弊社テクニカルサポートにご相談ください。



● 表示された電源で使用する。

電源コードは必ず AC100V のコンセントに接続してください。



● 電源コードを大切に。

電源コードは破損しないよう十分ご注意ください。コード部分を持って抜き差ししたり、コードの上にものを乗せると、被覆が破れて感電や火災の原因となります。



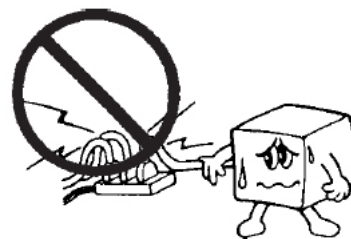
● 使用中は本体やアダプター・コードに長時間触れて使用しない。

やけどや低温やけどの原因となります。



⚠ 注意

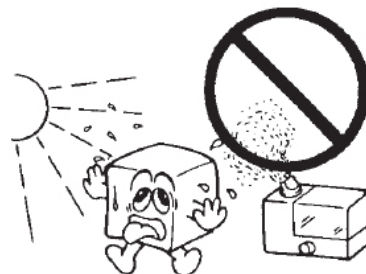
- 電源コードはなるべくコンセントに直接接続してください。タコ足配線や何本も延長したテーブルタップの使用は火災の原因となります。



- 電源コードは必ず伸ばした状態で使用してください。束ねた状態で使用すると、過熱による火災の原因となります。



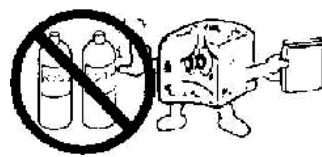
- 高温・多湿の場所、長時間直射日光の当たる場所での使用や保管は避けてください。また、周辺の温度変化が激しいと内部結露によって誤動作する場合があります。



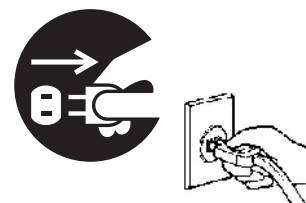
- 本体は精密な電子機器のため、衝撃や振動の加わる場所、または加わりやすい場所での使用や保管は避けてください。



- 本体が汚れた場合は必ず電源を切ってから、柔らかい布に水または中性洗剤を含ませ軽くふいてください。（本体内に垂れ落ちるほど含ませないように気をつけてください。）揮発性の薬品（ベンジン・シンナーなど）を用いますと、変形・変色の原因になる事があります。



- 本製品を長期間使用しない場合は、バッテリーを本体から外し、電源コードのプラグをコンセントから抜いておいてください。

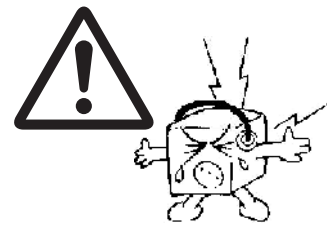


● 本製品を使用して、サウンドを再生する場合には、必ず最初に音量を最小にして、適切なレベルまで少しずつ上げてください。これを行わないと機器や聴覚に障害が発生する場合があります。特にヘッドフォンを使用する場合は、必ず最初にヘッドフォンを耳から離れた状態で音量を確認してください。

● LCD パネルは、膨大な数の薄膜トランジスタ（TFT）で構成されています。画面上で小数のドットの欠落、変色、発光が見られる事もありますが、これは、TFT 液晶技術に起因するもので、製品自体の欠陥によるものではありません。

● 本製品には、有寿命品が含まれております。LCD（液晶）パネル、バックライト、タッチパネル、電池、コンデンサ、電源アダプター等の経時による劣化（輝度の変化、色の変化、輝度と色の均一性の変化、焼き付き、欠点の増加、感度低下、機能低下など）生じた場合は、保証期間でも有償修理とさせていただきます。

● 継続してご使用になる場合には、定期的なデータのバックアップ及びメンテナンス（有寿命品の交換、清掃）を行ってください。



■電波に関する注意事項

この機器の仕様周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

- 1 この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
- 2 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか又は電波の発射を停止した上、弊社テクニカルサポートまでご連絡いただき、混乱回避のための処置等（例えば、パーティションの設置など）についてご相談してください。
- 3 その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電場干渉の事態が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは弊社テクニカルサポートまでお問い合わせください。
- 4 法令により、無線 LAN の 5GHz 帯の 5.3GHz 帯を屋外で使用することは禁止されています。5.2GHz 帯は条件付で屋外利用が可能です。

廃棄・譲渡時のデータ消去に関するご注意

■ご利用の弊社製品を廃棄等される際には、以下の事項にご注意ください。

●本製品を廃棄する際、内蔵ストレージに記録されたお客様のデータが再利用され、データが流出してしまうことがあります。

●内蔵ストレージに記録されたデータは、「削除」や「フォーマット」を行っただけではデータが消えたように見えるだけで、特殊なソフトウェアなどを使うことにより、消したはずのデータが再生されることがあります。

内蔵ストレージ上のデータが第三者に流出することがないように全データの消去の対策をお願いいたします。また、内蔵ストレージ上のソフトウェアを消去することなく本製品を譲渡しますと、ソフトウェアライセンス使用許諾契約に抵触する場合がありますのでご注意ください。

ごあいさつ

この度は弊社製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。本書では製品の設定接続方法、機能や仕様等についてのご説明をいたします。ご使用前に必ずご一読ください。

ご注意

- ①本書の内容の一部または全部を無断で複製・転載することを禁止させていただきます。
- ②本書の内容に関しては万全を期しておりますが、万一ご不審な点がございましたら、弊社テクニカル サポートまでご連絡願います。
- ③本書に記載されている機種名やソフトウェアのバージョンは本書作成時の情報です。最新情報については、弊社テクニカルサポートへお問い合わせください。

■サポート窓口のご案内

●テクニカルサポート

製品に対する技術的な質問や、取扱説明書に対する疑問点は、次の内容をご確認の上、テクニカルサポートまでお問い合わせください。

FAXにてお問い合わせの場合は、お客様のご連絡先を必ずご記入ください。

①現在の状態（できるだけ詳しく）

②製品の名称 / シリアル番号

テクニカルサポート（ナビダイヤル）

TEL. 0570-006409

受付時間： 9:00～12:00、13:00～17:00

月曜日～金曜日（祝祭日、夏期、年末年始特定休業日を除く）

※上記電話番号は「コールバック方式」です。ご用件を伺ってから、担当より折り返しお電話いたします。

※携帯電話（FAX）、PHS（TEL、FAX 共）、IP 電話（TEL、FAX 共）、ひかり（光）電話はご利用になれません。ナビダイヤルをご利用出来ない方は TEL:011-350-5946 へおかけください。

- ④本製品の仕様、デザイン及びマニュアルの内容は、製品改良などのために予告なく変更する場合があります。
- ⑤本製品に保存したデータについては、理由を問わず一切の保証はいたしかねます。誤操作、落雷などの自然災害、経年劣化や不慮の事故等による製品故障に備え、重要なデータはあらかじめバックアップ（データの複製）をお願いします。
- ⑥本製品の仕様はお客様の特定の目的に適合することを保証するものではありません。
- ⑦本製品は、人命に関わる設備や機器、および高い信頼性や安全性を必要とする設備や機器（医療関係、航空宇宙関係、輸送関係、原子力関係等）への組み込み等は考慮されていません。これらの設備や機器で本製品を使用したことにより人身事故や財産損害等が発生しても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。
- ⑧本製品は日本国内仕様です。海外での使用に関して弊社ではいかなる責任も負いかねます。また弊社では海外使用に関するサービス・サポートは一切行っておりません。
- ⑨本製品を運用した結果による損失、利益の逸失の請求等につきましては、弊社ではいかなる責任も負いかねます。あらかじめご了承ください。

本体使用上のご注意

- 本製品の耐衝撃落下性能、耐振動性能、防塵防滴性能は製品の無破損、無故障を保証するものではありません。
- 動作温度範囲内であっても、急激な温度変化にさらすと故障の原因になりますのでご注意ください。
- 本製品はバッテリーパックを装着しない状態での運用はできません。
電源アダプターの抜けや停電による予期せぬシャットダウンが起きた場合、本体が故障する可能性があります。ご注意ください。
- 電源アダプターは必ず付属品をお使いください。
付属品以外を使用しますと故障の原因になります。
- 本体のリセットボタンは、本体がフリーズし電源ボタンを押しても反応がない場合にのみ使用ください。むやみに使用すると故障の原因となります。
また、リセットボタンを押すと日付・時刻がずれる場合があります。

マニュアル中の表示について

本機を使用するにあたり役に立つ情報の提供や、ハードウェアの破損、故障の可能性の警告のため、次の「メモ」、「重要」、「注意」の3つの記載が本マニュアルでは使用されています。



メモ

役に立つ情報を記載しています。



重要

知っておいていただきたい重要な情報を記載しています。



注意

ハードウェアの破損、故障の可能性があることや、問題を回避する方法を説明しています。

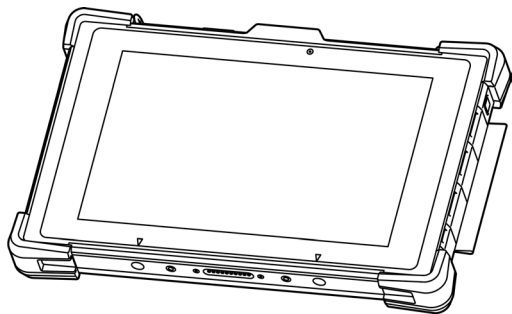
1. 本体と付属品の確認

本体と標準付属品が揃っていることを確認してください。

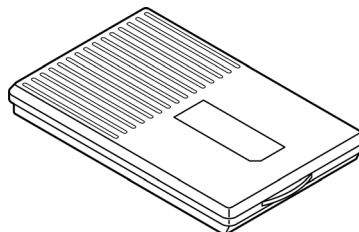
万一、足りないものがあったり、破損しているものがあつた場合は、販売店または弊社サポート窓口までご連絡ください。

本体と標準付属品一覧

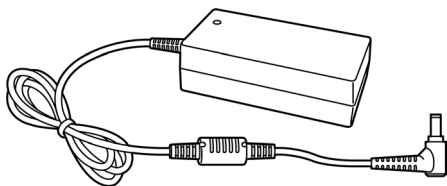
●本体



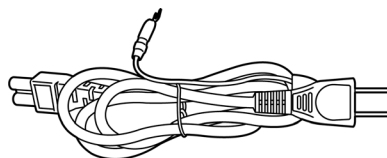
●標準バッテリー



●電源アダプター



●電源コード



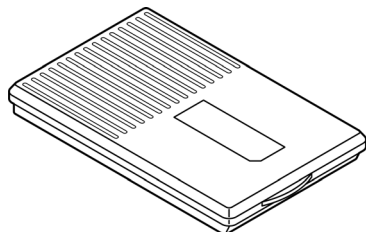
オプション品

本製品に対応したオプション品を紹介します。

ご注文内容を確認し、オプション品が揃っていることを確認してください。

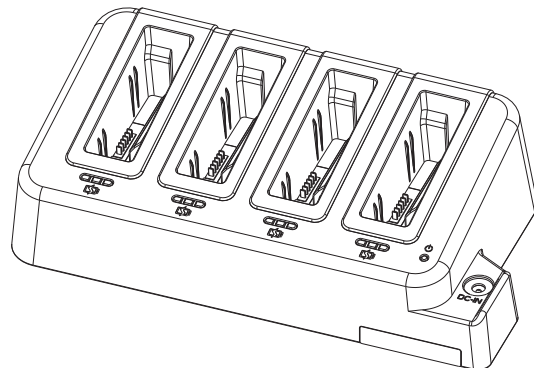
●標準交換バッテリー

PC-LTMSBT01



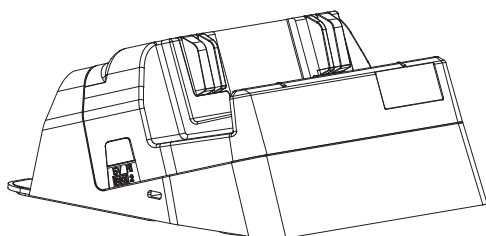
●バッテリー充電台

PC-LTMSBTCH01



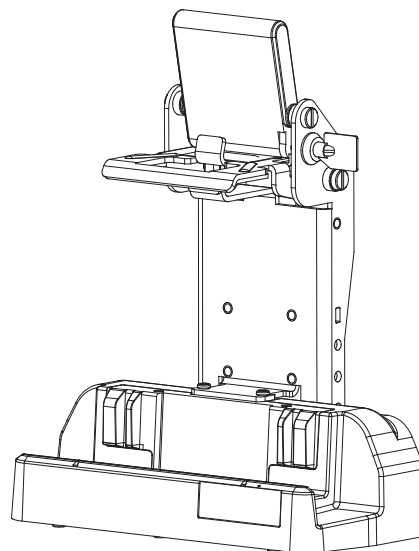
●デスクトップクレードル

PC-LTMSDTCR01



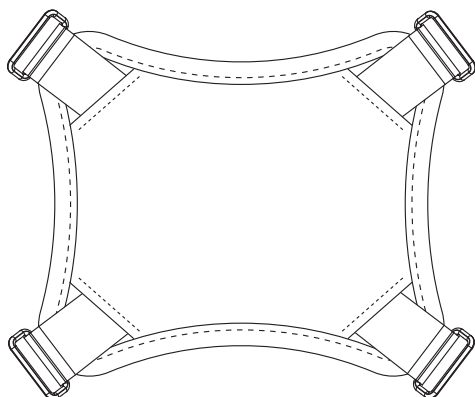
●車載クレードル

PC-LTMSVHCR01



●ハンドストラップ

PC-LTMSHDST01



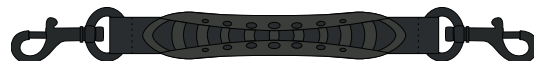
●ショルダーストラップ

PC-LTMSSTDST01



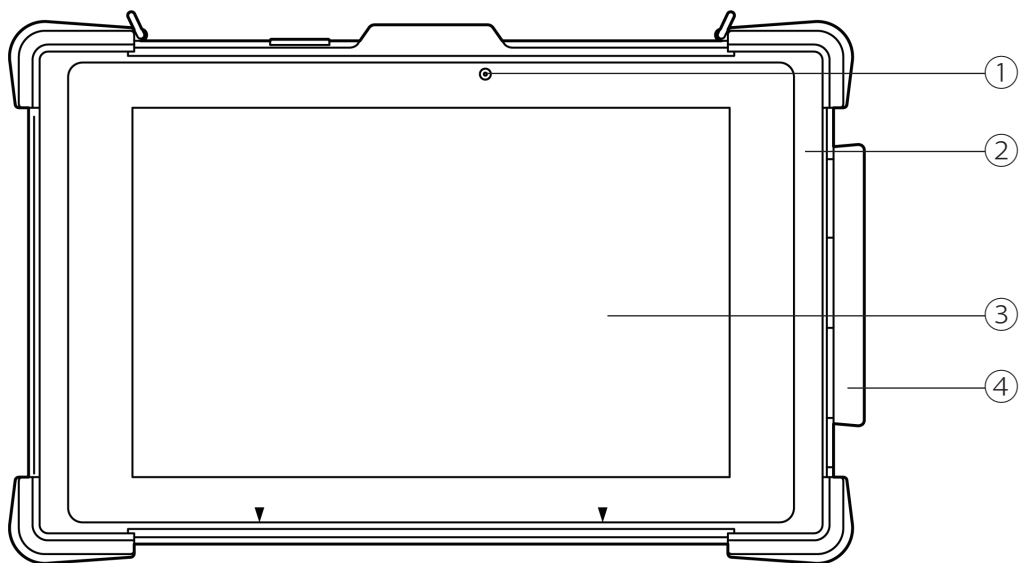
●ブリーフケースハンドル

PC-LTMSBCH01



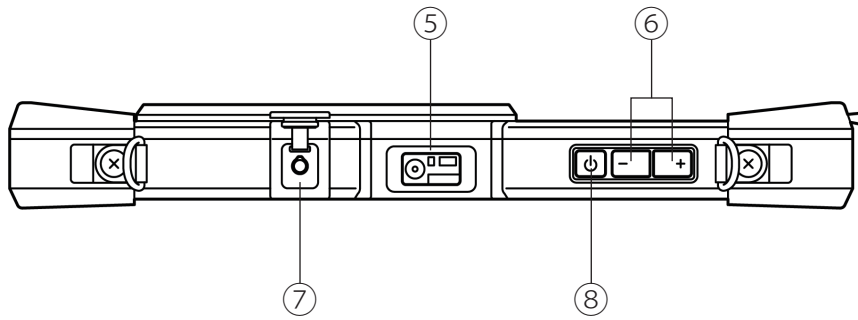
2. 各部の名称

前面

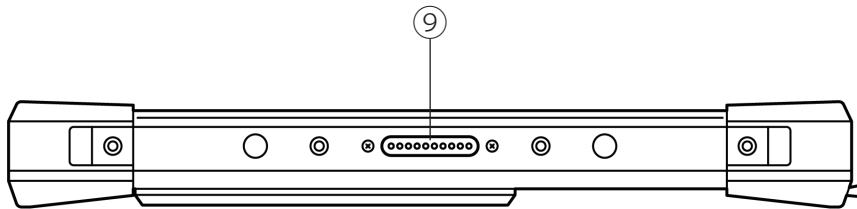


番号	名前
①	フロントカメラ
②	内蔵マイク
③	タッチパネル
④	ペンホルダー

天面

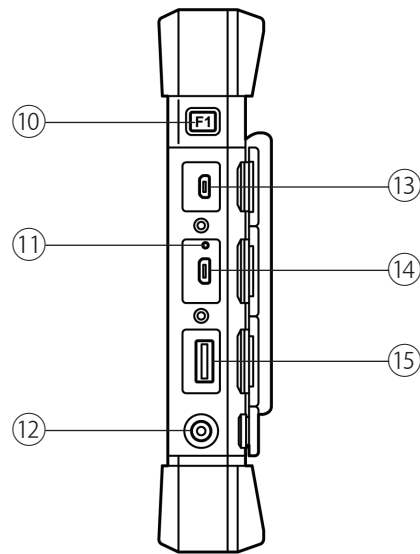


底面



番号	名前
⑤	バーコードスキャナ *
⑥	音量ボタン
⑦	ヘッドセット端子
⑧	電源ボタン
⑨	ドッキングコネクタ

* モデルによっては、搭載されていない場合があります。



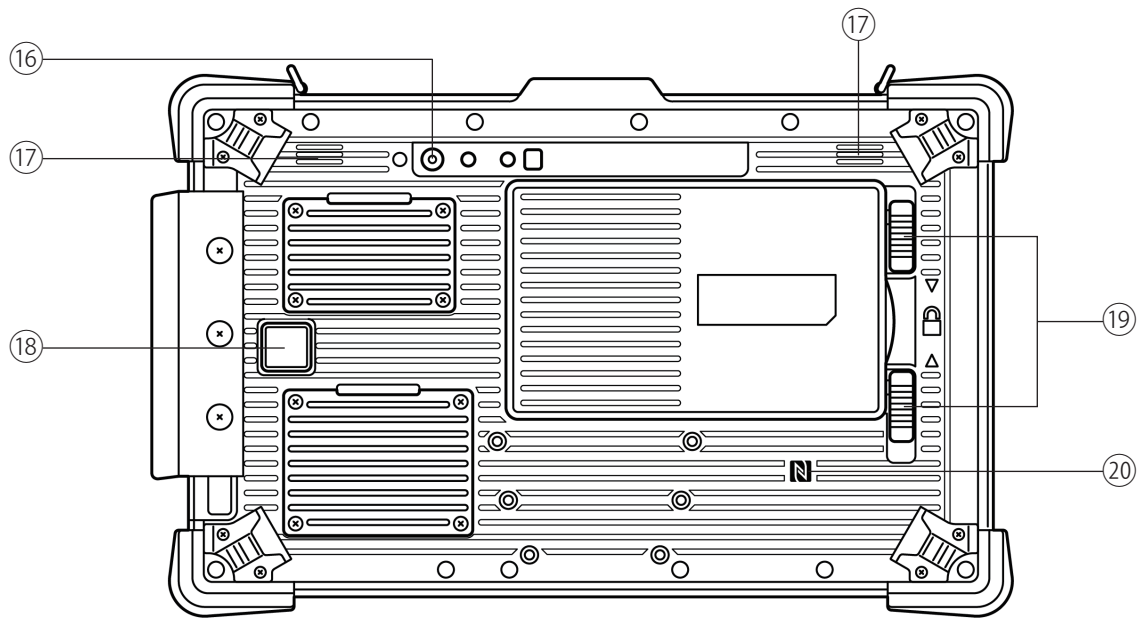
番号	名前
⑩	F1 ボタン
⑪	リセットボタン
⑫	電源コネクタ
⑬	Micro HDMI ポート
⑭	Micro USB 2.0 ポート
⑮	USB 3.0 ポート



注意

- ・リセットボタンは、本機がフリーズし、電源ボタンを押しても反応が無い場合など、やむを得ない場合にのみ使用してください。むやみに使用すると故障の原因となります。
- ・リセットボタンを使用して強制シャットダウンを行うと、日付・時刻がずれる場合があります。

背面



番号	名前
①⑥	リアカメラ
①⑦	スピーカー
①⑧	フィンガープリント*または セキュリティスロット*
①⑨	バッテリーロックラッチ
②⑩	非接触 IC カードリーダー*

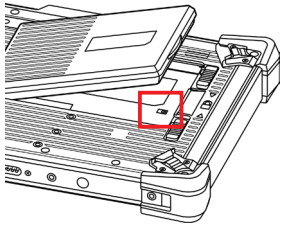
*モデルによっては、搭載されていない場合があります。

3. バッテリーの取り付け / 取り外し / 充電



注意

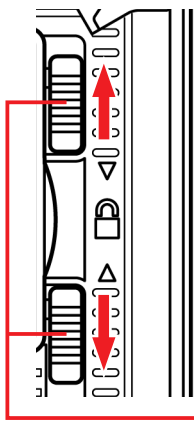
バッテリーを外した状態で図のスイッチを押さないでください。
故障の原因となります。



バッテリーの取り付け

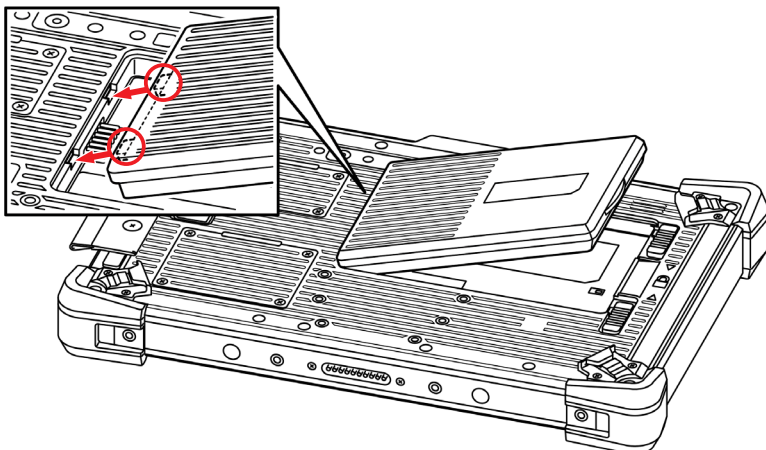
本機に標準のバッテリーを取り付けるには次の手順で行います。

1. 本機の電源をオフにし、本機に接続しているケーブルをすべて取り外す
2. 本機を背面が上になるよう置く
3. 「カチッ」という音がするまで、バッテリーロックラッチを矢印の方向に動かす



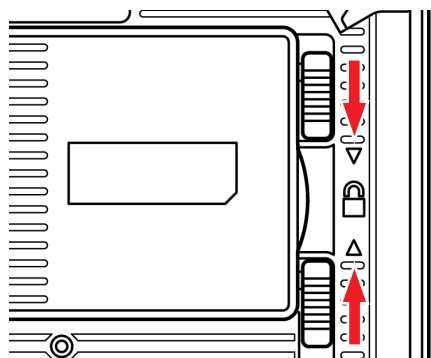
バッテリーロックラッチ

4. バッテリーをコネクター側からバッテリー格納部に取り付ける



コネクター部分とバッテリーのツメが本機に挿入されていることを確認してください。

5. 「カチッ」という音がするまで、バッテリーロックラッチを矢印の方向に動かす



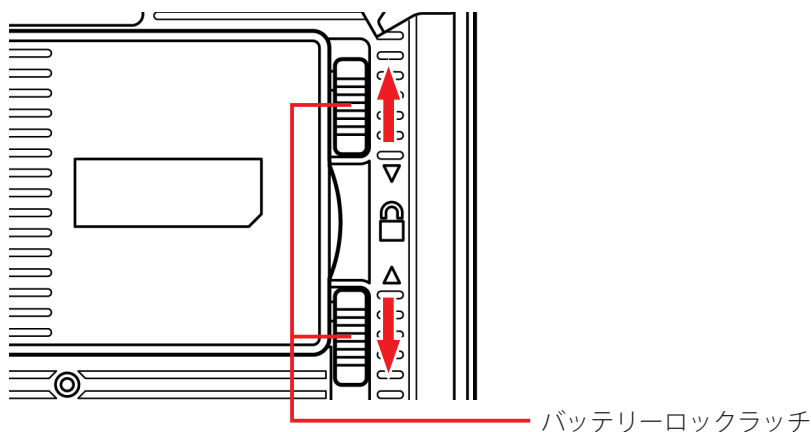
メモ

バッテリー取り付け後に電源ボタンを押しても反応がない場合は、次の手順でリセットしてください。

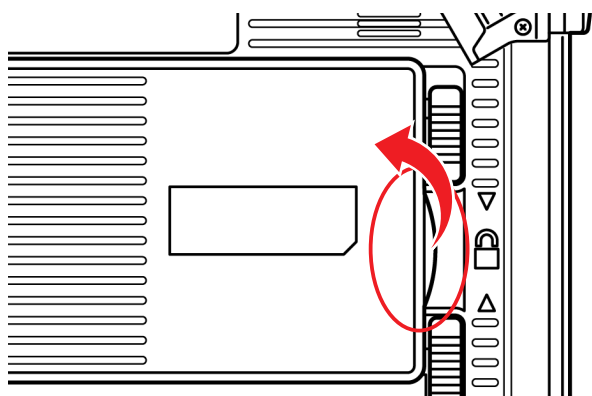
1. 本機の右側面にある RESET カバーを開ける
2. クリップの先などを使って、リセットボタンを押す

バッテリーの取り外し

1. 本機の電源をオフにし、本機に接続しているケーブルをすべて取り外す
2. 本機を背面が上になるように置く
3. 「カチッ」という音がするまで、バッテリーロックラッチを矢印の方向に動かす



4. バッテリーを図のように持ち上げて取り外す



電源に接続する

本機は内蔵バッテリー、および付属の電源アダプターにより動作します。

なお、本機を初めて使用する場合は、付属の電源アダプターを使用して操作をすることを推奨します。



注意

電源アダプターは本製品に付属のものを使用してください。付属の電源アダプター以外を使用した場合、本機やバッテリーの故障や破損の原因となります。

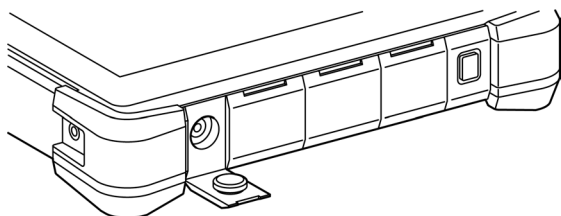


注意

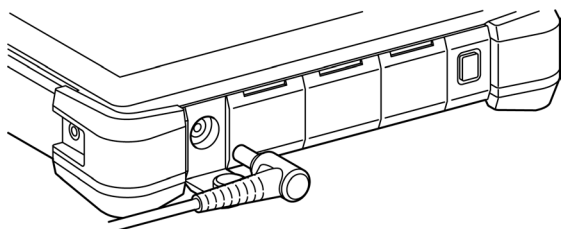
初めて本機を起動する際に、電源アダプターではなく、内蔵バッテリーを使用する場合は、起動前にバッテリーがフル充電されていることを確認してください。

本機に電源アダプターを接続するには次の手順で行います。

1. 本機の右側面にある DC-IN カバーを開ける



2. 電源アダプターのコネクタを、本機の電源コネクタに差し込む



3. 電源アダプターに電源コードを差し込む

4. 電源コードをコンセントに差し込む

接続した電源アダプターの電源コードをコンセントに差し込むと、バッテリーの充電を開始します。



メモ

本機の電源を切った状態で充電を始めると、画面にバッテリーのアイコンが表示されます。充電しながら本機を起動する際は、電源ボタンを3秒以上、長押ししてください。

内蔵バッテリーでの駆動時間、およびフル充電までの時間については、以下の表をご覧ください。

シリーズ名	バッテリー駆動時間	フル充電までの時間
LT-MS08 シリーズ	約 14 時間	約 6 時間
LT-MS08C シリーズ	約 9 時間	約 6 時間

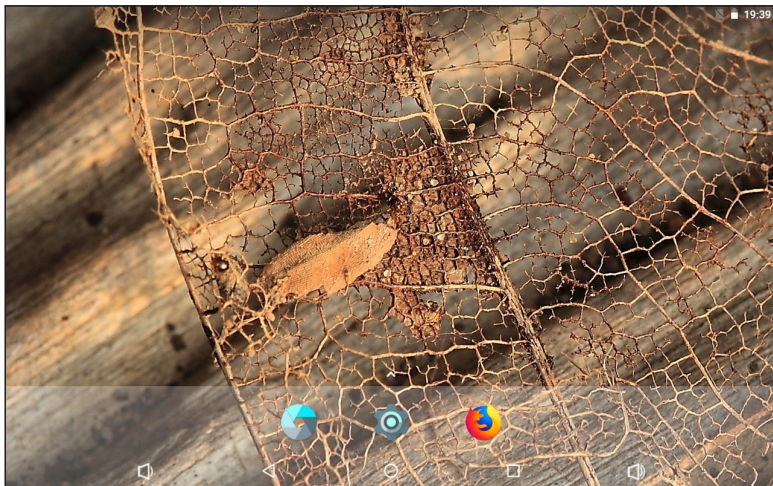
電源の ON / OFF、再起動

本機は専用の AC アダプターと接続し、バッテリーを充電することで動作します。本機の電源の ON / OFF、再起動は次の手順で行います。

電源を入れる【電源 ON】

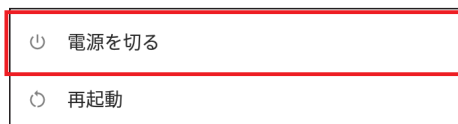
1. 本体天面の電源ボタンを 3 秒以上押す

起動画面が表示されたあと、ホーム画面が表示されます。



電源を切る【シャットダウン】

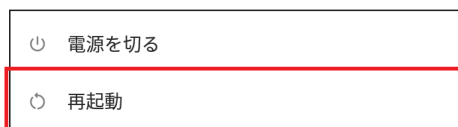
1. 本体天面の電源ボタンを 3 秒以上押す
メッセージウインドウが表示されます。
2. 「電源を切る」をタップする



シャットダウンが実行され、画面が消灯します。

再起動する

1. 本体天面の電源ボタンを 3 秒以上押す
メッセージウインドウが表示されます。
2. 「再起動」をタップする



メッセージウインドウが表示されます。

再起動が実行されます。画面が暗くなった後ですぐに起動画面が表示されます。

4. 目的に応じて設定を変更する

画面をキャプチャする【Screenshot 設定】

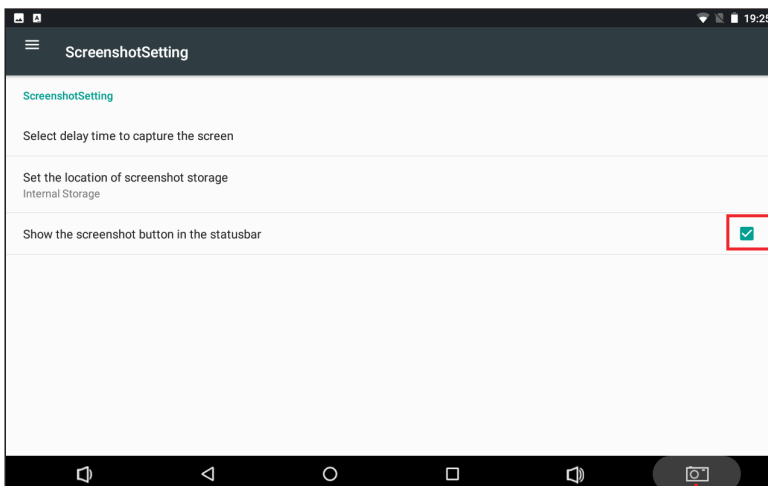
「Screenshot 設定」を使うとタブレットの画面領域全体を画像として保存できます。「Screenshot 設定」を有効にするには、次の手順で設定します。

「Screenshot 設定」を有効にする

1. 「設定」をタップする
2. 「Screenshot Setting」をタップする



3. 「Show the screenshot button in the statusbar」のチェックボックスをタップする
画面の右下にボタン (📷) が表示されます。



Screenshot ボタン

画面の右下のボタン (📷) をタップすると、画面領域全体が PNG 形式で保存されます。

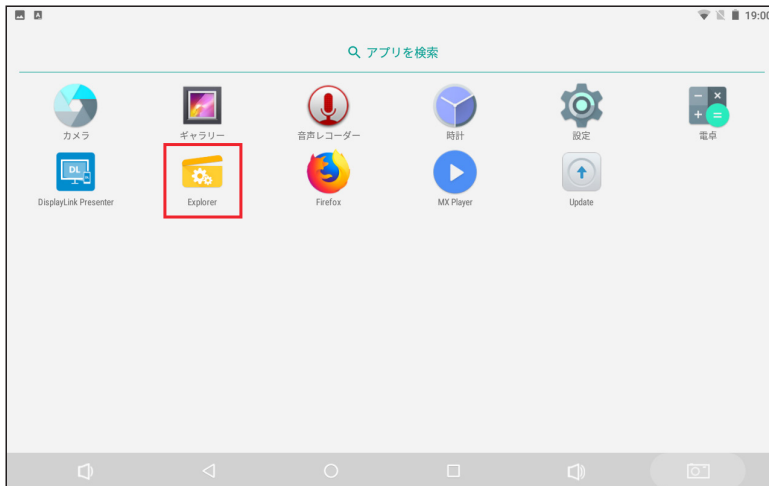


メモ

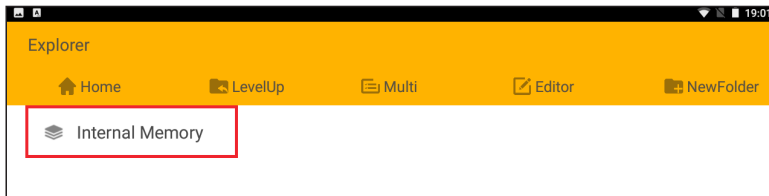
「Screenshot 設定」を無効にするには、「Show the screenshot button in the statusbar」のチェックをはずしてください。

保存したキャプチャ画像を確認する

1. ホーム画面で画面の下部から上に向かってスワイプする
2. 「Explorer」をタップする

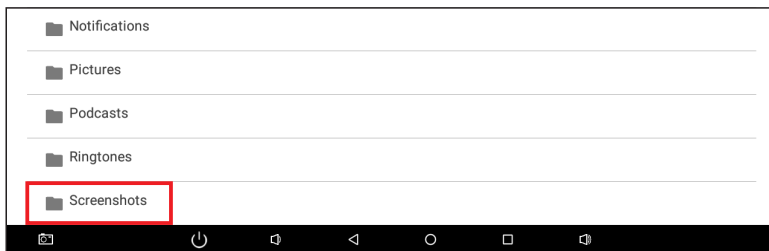


3. 「Internal Memory」フォルダをタップする



4. 「Screenshots」フォルダをタップする

保存したキャプチャ画像の一覧が表示されます。



メモ

画像データは「Screenshot_yyyymmdd (年月日)_hhmmss (時分秒).png」の名前で保存されます。



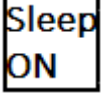
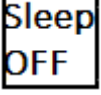
時刻を指定して本機をコントロールする【Schedule 機能】

指定した時刻に本機をシャットダウン、再起動、スリープモードの ON / OFF させることができます。時刻や繰り返しの設定は次の手順で行います。

動作を選択する【Schedule 機能】

1. 「設定」をタップする
2. 「Scheduled」をタップする
3. 設定したい動作のチェックボックスをタップする



アイコン	概要
	指定した時刻にシャットダウンします
	指定した時刻に再起動します
	指定した時刻にスリープモードに切り替わります
	指定した時刻にスリープモードから復帰します

動作の時刻を設定する【Schedule】

1. 設定したい動作の時間をタップする

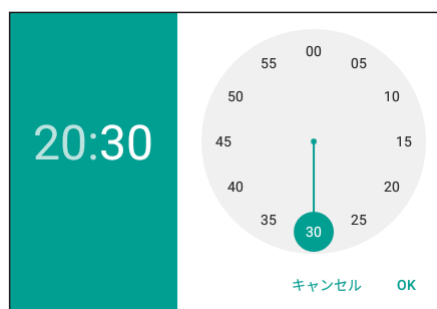


2. 設定したい時刻をタップする

午前の場合は円の外側（1～12）、午後の場合は円の内側（00～23）の数字をタップします。

設定画面	設定
	時（1～12、00～23）
	分（00～59）

たとえば、20:30 に設定したときは次のようになります。



3. 「OK」をタップする



注意

「Sleep ON」と「Sleep OFF」を同時刻に設定することはできません。エラーメッセージが表示されますので、時刻の設定をやり直してください。

動作の繰り返しを設定する【Repeat】

1. 「Repeat」をタップする



2. 動作を繰り返す曜日を選択し、「OK」をタップする

複数の曜日を選択することができます。

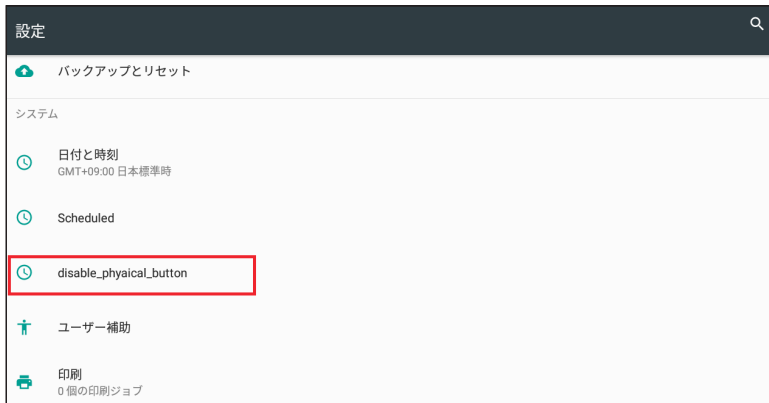


ユーザーのボタン操作を無効にする【disable_physical_button 設定】

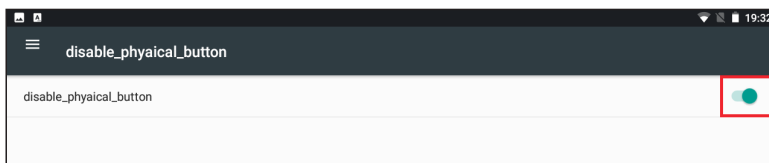
「disable_physical_button 設定」をオンにすると、音量ボタンの操作を無効にできます。「disable_physical_button 設定」をオンにするには次の手順で設定します。

「disable_physical_button 設定」をオンにする

1. 「設定」をタップする
2. 「disable_physical_button」をタップする



3. 切り替えバーをタップする



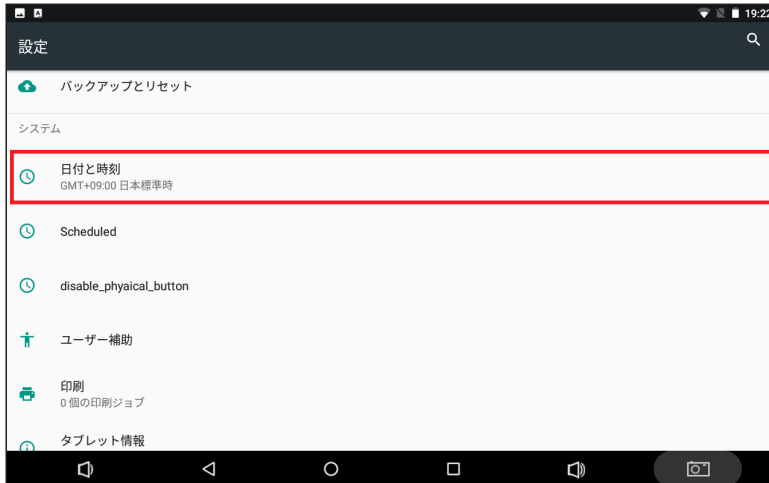
切り替えバーが右にスライドし、「disable_physical_button 設定」がオンになります。

切り替えバー	バーの色	disable_physical_button 設定
	グレー	オフ (ボタン操作有効)
	緑	オン (ボタン操作無効)

NTP サーバのアドレスを指定する

本機の内部時計の時刻合わせの際に、時刻情報を問い合わせる NTP サーバのアドレスを指定します。

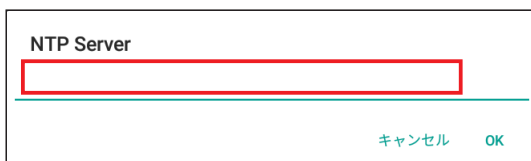
1. 「設定」をタップする
2. 「日付と時刻」をタップする



3. 「NTP Server」をタップする



4. 設定するアドレスを入力する



5. 「OK」をタップする
NTP サーバのアドレスが指定されます。

出荷時の状態に戻す

内部ストレージの全データを消去し、出荷時の状態にリセットします。

タブレットのリセット【データの初期化】



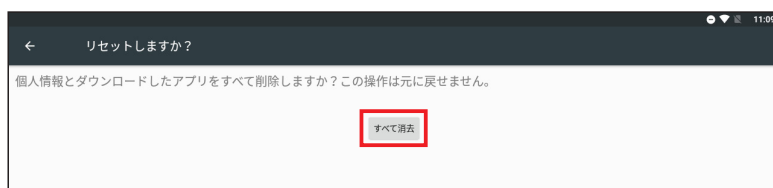
注意

Google アカウント、システムやアプリのデータと設定、ダウンロードしたアプリ、音楽、画像、他のユーザーデータを含む内部ストレージの全データが消去されます。バックアップが必要なデータはあらかじめ USB デバイスや SD カードに保存してください。

1. 「設定」をタップする
2. 「バックアップとリセット」をタップする
3. 「データの初期化」をタップする
4. 「タブレットをリセット」をタップする



5. 「すべて消去」をタップ

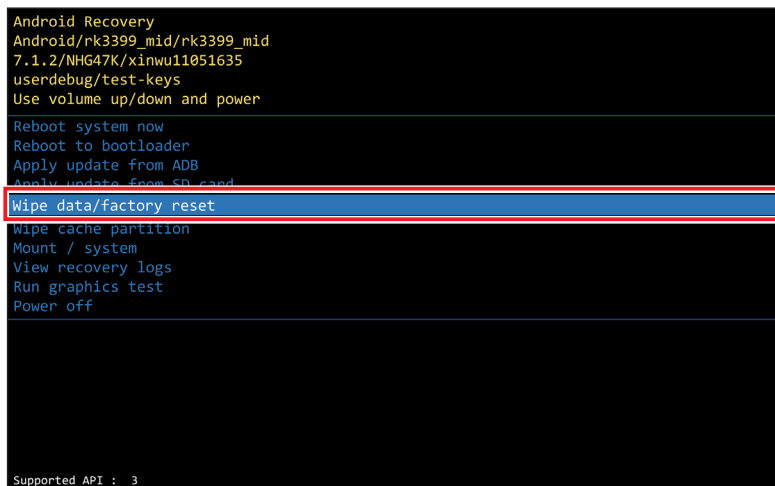


出荷時設定にリセットされ、再起動します。

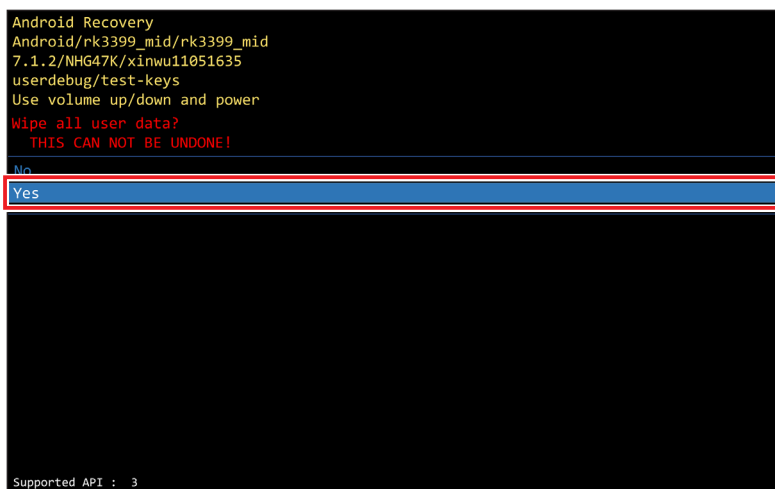
タブレットのリセット【データの初期化】

端末の設定アプリを開くことができない場合は、電源ボタンとボリュウムボタンを使用して出荷時の設定にリセットすることができます。

1. 本体天面のボリュウムボタン (+) を押しながら電源ボタンを長押しする
Android Recovery の画面が表示されます。
2. ボリュウムボタン (+) または (-) で「Wipe data/factory reset」を選択する



3. 電源ボタンを押す
4. ボリュウムボタン (+) または (-) で「Yes」を選択する



5. 電源ボタンを押す
出荷時の状態にリセットされ、再び Android Recovery の画面が表示されます。

6. 「Reboot system now」を選択した状態で電源ボタンを押す

```
Android Recovery
Android/rk3399_mid/rk3399_mid
7.1.2/NHG47K/xinwu11051635
userdebug/test-keys
Use volume up/down and power

Reboot system now
Reboot to bootloader
Apply update from ADB
Apply update from SD card
Wipe data/factory reset
Wipe cache partition
Mount / system
View recovery logs
Run graphics test
Power off

Supported API : 3
-- Wiping data
Formatting /data...
Formatting /cache...
Data wipe complete.
```

再起動します。

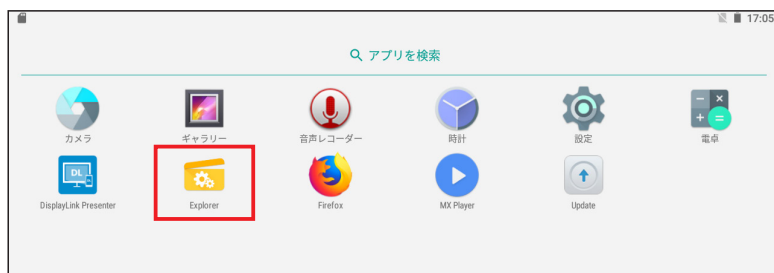
5. アプリケーションのインストール方法

アプリケーションを追加する

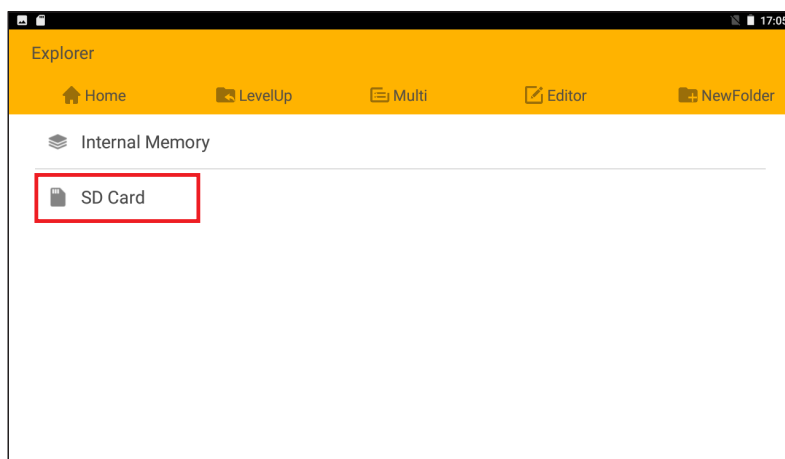
USB メモリまたは SD カード経由でアプリケーションを追加します。

USB メモリまたは SD カードに保存したアプリケーションを追加する

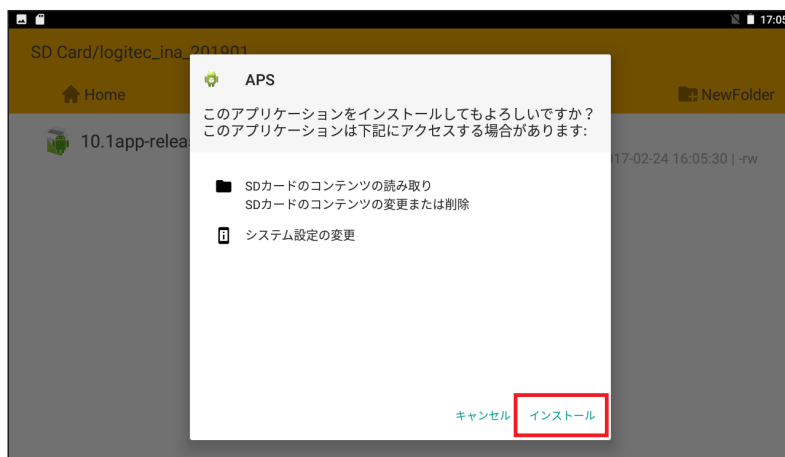
1. アプリケーションが入った USB 機器または SD カードを本機に装着する
2. ホーム画面で画面の下部から上に向かってスワイプする
3. 「Explorer」をタップする



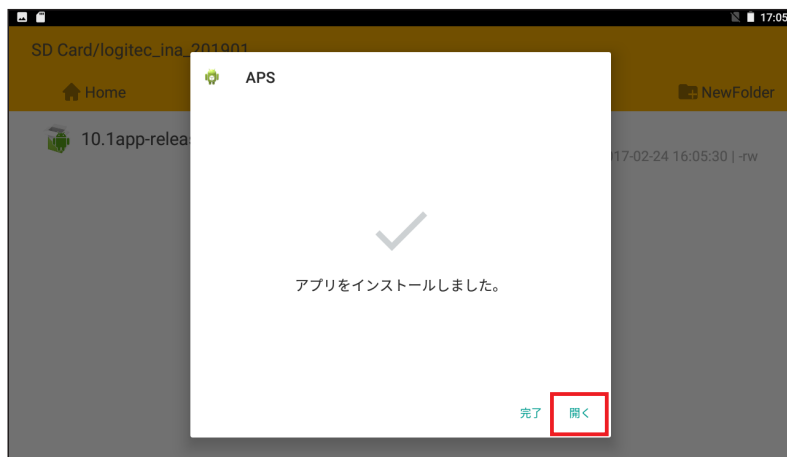
4. アプリケーションが入った USB 機器または SD カードをタップする



5. インストールするアプリケーションをタップする
6. 「インストール」をタップする



7. 「開く」または「完了」をタップする

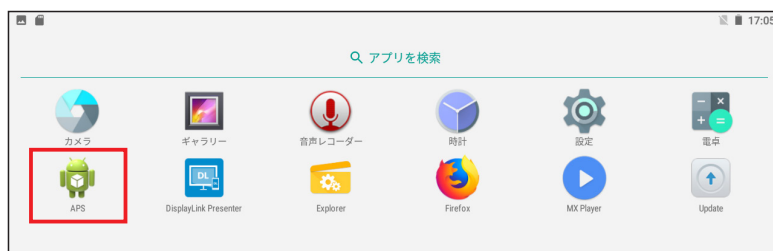


「開く」をタップすると追加したアプリケーションが起動します。



メモ

ホーム画面で画面の下部から上に向かってスワイプすると、インストールしたアプリケーションを確認できます。



6. その他の機能・設定

SIM カードの取り付け

SIM カードを本機のスロットに挿入します。

SIM カードは標準サイズ（15mm × 25mm）をご使用ください。



注意

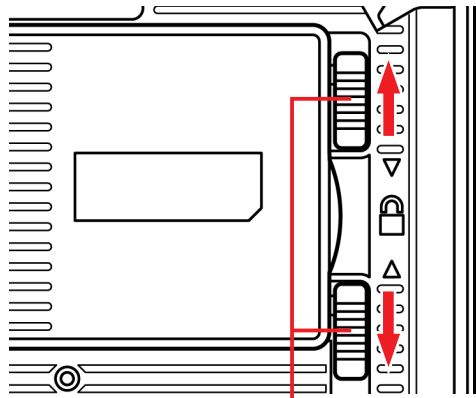
- ・ 3G/LTE モジュールと標準 SIM カードを取り付ける前に本機の電源をオフにしてください。オンにしたまま取り付けを行うと破損、故障の原因となります。
- ・ 標準 SIM サイズ以外の SIM カードを挿入しないでください。SIM カードがスロットから取り出せなくなる可能性があります。
- ・ NTT ドコモ対応モデル、SoftBank 対応モデルは市販の SIM 変換アダプターを使用しないでください。SIM カードがスロットから取り出せなくなる可能性があります。
- ・ KDDI(au) 対応モデルで SIM 変換アダプターを使用する場合は、SIM と変換アダプターの間隙が無いように装着ください。隙間があると SIM カードがスロットから取り出せなくなる可能性があります。

1. 本機の電源をオフにする

2. 本機を背面が上になるよう置く

バッテリーが装着されていないときは、手順 5. に進んでください。

3. 「カチッ」という音がするまで、バッテリーロックラッチを矢印の方向に動かす

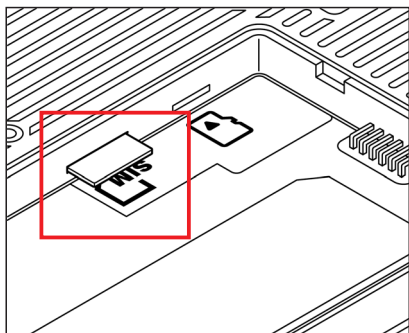


バッテリーロックラッチ

4. バッテリーを取り外す (p. 20 参照)

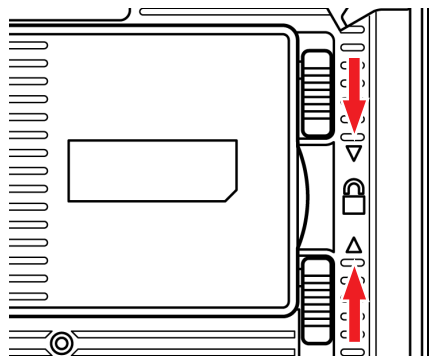
5. SIM カードを本体のスロットに挿入する

スロットの位置は「SIM」と書かれたアイコンで確認できます。



6. バッテリーを取り付ける (p. 19 参照)

7. 「カチッ」という音がするまで、バッテリーロックラッチを矢印の方向に動かす

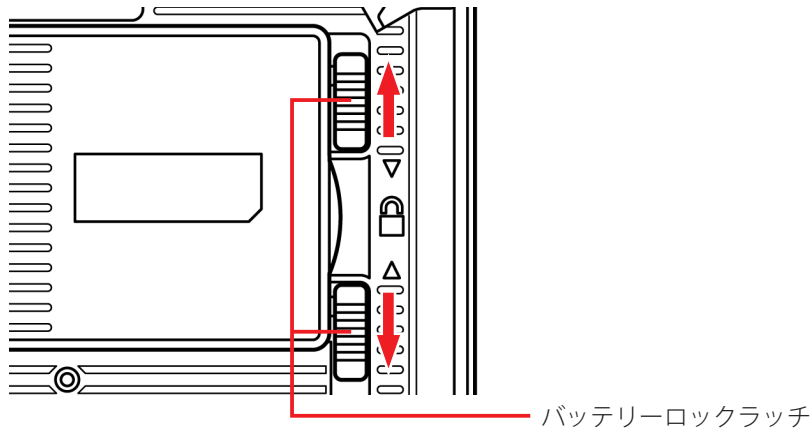


Micro SD カードの取り付け

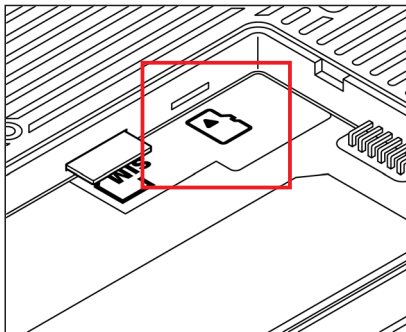
Micro SD カードを本機のスロットに挿入します。

Micro SD カードは標準サイズ（15mm × 11mm）をご使用ください。

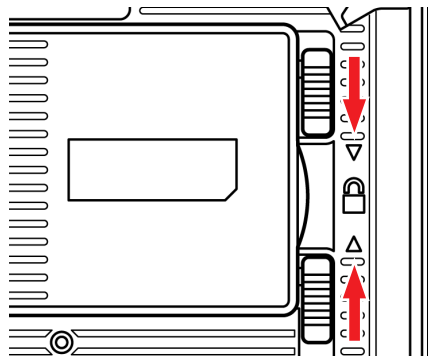
1. 本機の電源をオフにする
2. 本機を背面が上になるよう置く
バッテリーが装着されていないときは、手順 5. に進んでください。
3. 「カチッ」という音がするまで、バッテリーロックラッチを矢印の方向に動かす



4. バッテリーを取り外す（p. 20 参照）
5. Micro SD カードを本体のスロットに挿入する



6. バッテリーを取り付ける（p. 19 参照）
7. 「カチッ」という音がするまで、バッテリーロックラッチを矢印の方向に動かす

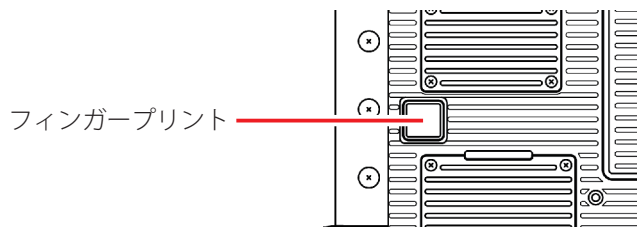


オプション機能

お客様のご注文の内容によって、本機にオプション機能が付いています。

■ フィンガープリント

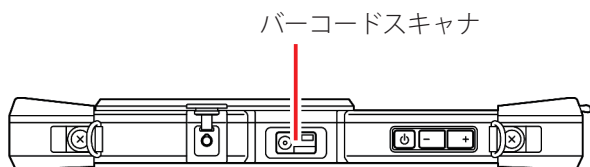
本機の背面にあります。指紋の読み取りができます。



■ バーコードスキャナ

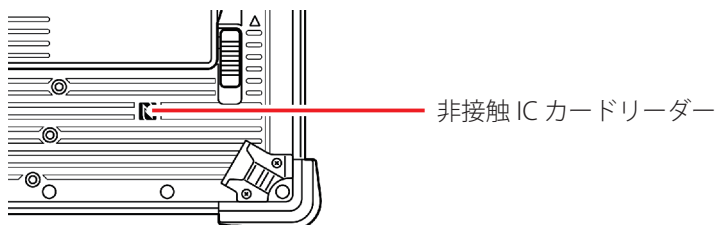
本機の天面にあります。バーコードの読み取りができます。

本機の右側面にあるF1 ボタンを押すと、バーコードスキャナから光線が出ます。バーコードを読み取るときは、F1 ボタンを押しながら光線をバーコードに当ててください。



■ 非接触 IC カードリーダー

本機の背面にあります。近距離無線通信によってデータの転送ができます。



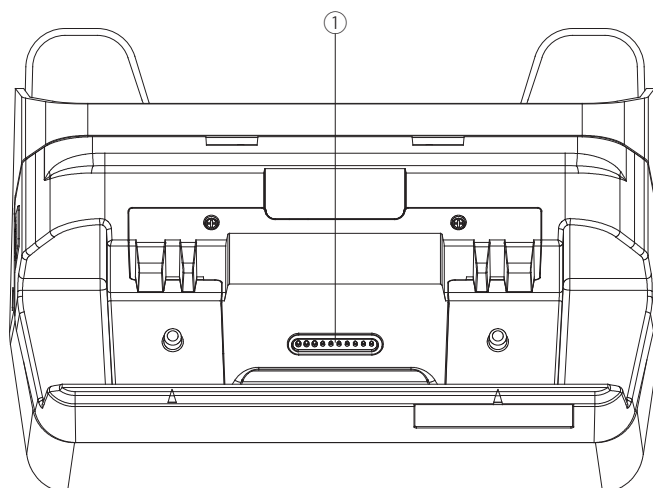
7. デスクトップクレードル (オプション購入された場合のみ)

デスクトップクレードル使用上のご注意

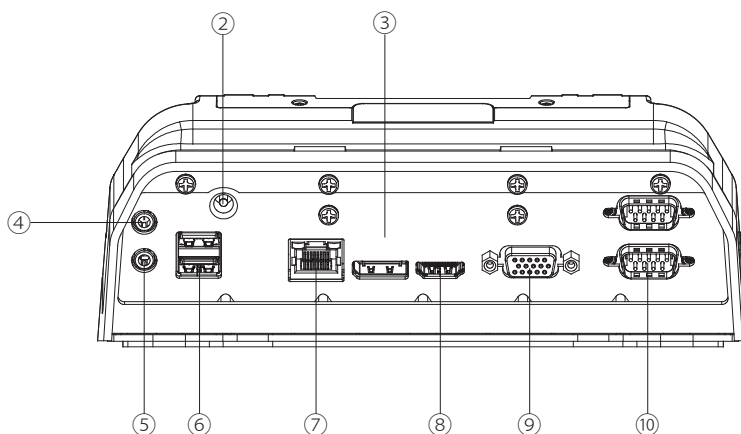
- ・ LT-MS08 シリーズ以外のタブレットをデスクトップクレードルに接続しないでください。
故障の原因となります。
- ・ デスクトップクレードルにはタブレット本体付属の電源アダプターをご使用ください。
それ以外を使用されますと故障の原因となります。
- ・ デスクトップクレードルの各機能は、電源アダプターで電力を供給しなければご使用になれません。

デスクトップクレードル各部の名称と機能

天面



背面



番号	名前	説明
①	タブレット接続コネクタ	デスクトップクレードルとタブレットを接続します。
②	電源コネクタ	タブレット本体付属の電源アダプターを接続して電力を供給します。
③	ディスプレイポート	外部モニターと接続します。
④	オーディオコネクタ (マイク入力)	マイク等のオーディオ機器と接続します。
⑤	オーディオコネクタ (音声出力)	イヤホン等のオーディオ機器と接続します。
⑥	USB 2.0 ポート	USB 機器と接続します。
⑦	有線 LAN コネクタ	有線 LAN ケーブルを接続します。
⑧	HDMI コネクタ	外部モニターと接続します。
⑨	VGA ポート	外部モニターと接続します。
⑩	RS232 ポート	RS232 機器と接続します。

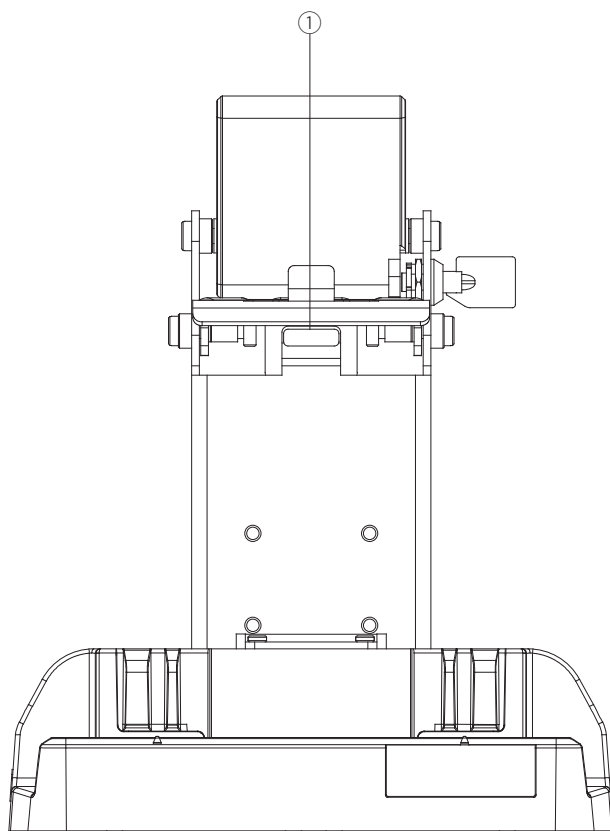
8. 車載クレードル（オプション購入された場合のみ）

車載クレードル使用上のご注意

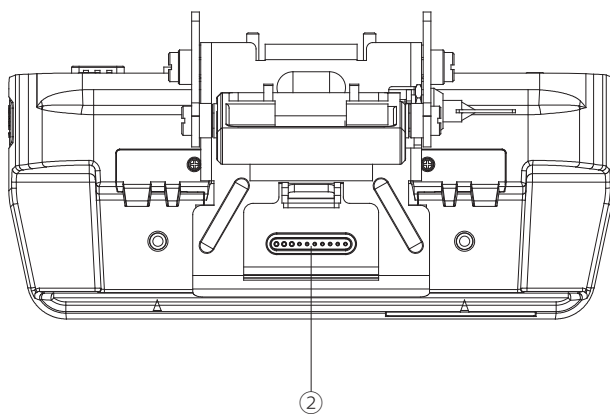
- ・ LT-MS08 シリーズ以外のタブレットを車載クレードルに接続しないでください。
故障の原因となります。
- ・ 車載クレードルには、タブレット本体付属の電源アダプターもしくは車載クレードル付属のシガーソケット用電源ケーブルをご使用ください。
それ以外を使用されますと故障の原因となります。
- ・ 車載クレードルの各機能は、電源アダプターもしくは車載クレードル付属のシガーソケット用電源ケーブルで電力を供給しなければご使用になれません。

車載クレードル各部の名称と機能

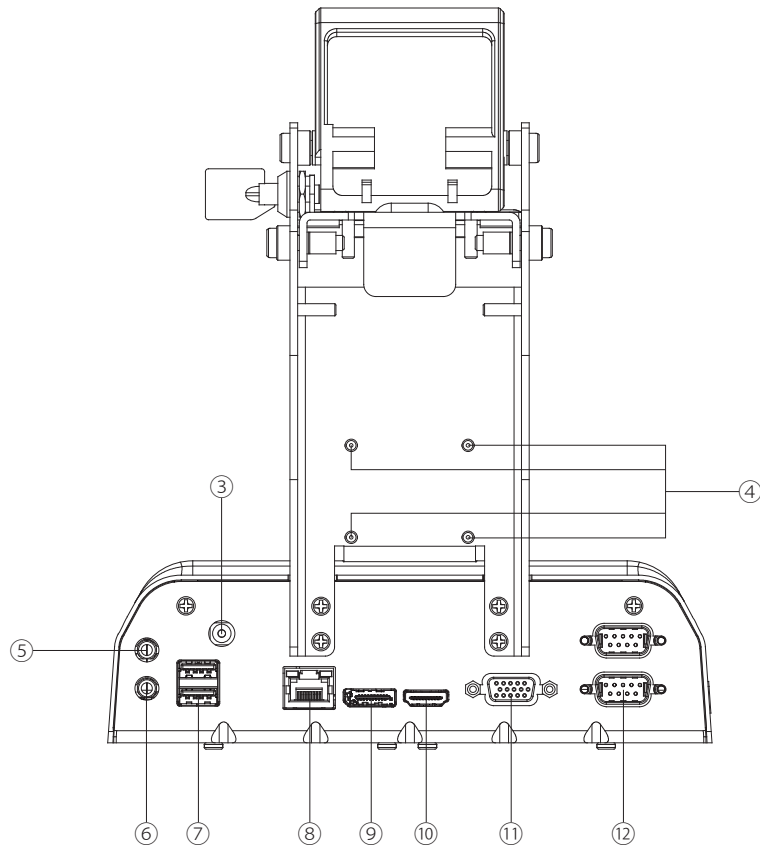
前面



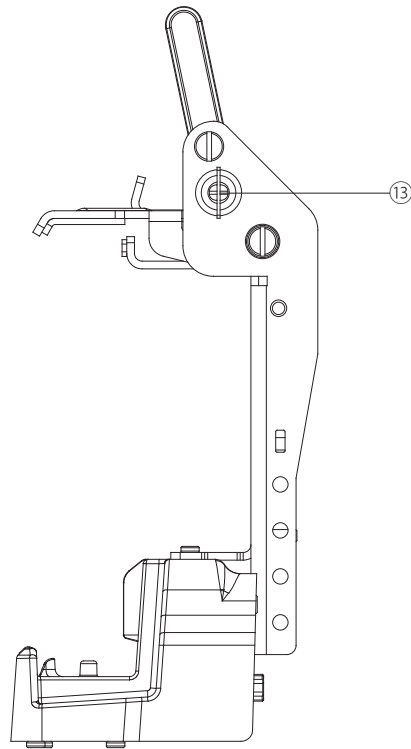
天面



背面



右側面



番号	名前	説明
①	フック	タブレットを車載クレードルに装着した状態で、音がするまで下に押すとタブレットを固定することができます。
②	タブレット接続コネクタ	車載クレードルとタブレットを接続します。
③	電源コネクタ	タブレット本体付属の電源アダプターを接続して電力を供給します。
④	VESA 取付穴	VESA 規格 75mm × 75mm 対応の取付穴です。
⑤	オーディオコネクタ (マイク入力)	マイク等のオーディオ機器と接続します。
⑥	オーディオコネクタ (音声出力)	イヤホン等のオーディオ機器と接続します。
⑦	USB 2.0 ポート	USB 機器と接続します。
⑧	有線 LAN コネクタ	有線 LAN ケーブルを接続します。
⑨	ディスプレイポート	外部モニターと接続します。
⑩	HDMI コネクタ	外部モニターと接続します。
⑪	VGA ポート	外部モニターと接続します。
⑫	RS232 ポート	RS232 機器と接続します。
⑬	鍵穴	付属の鍵を使用することで、「フック」の固定をロックすることができます。

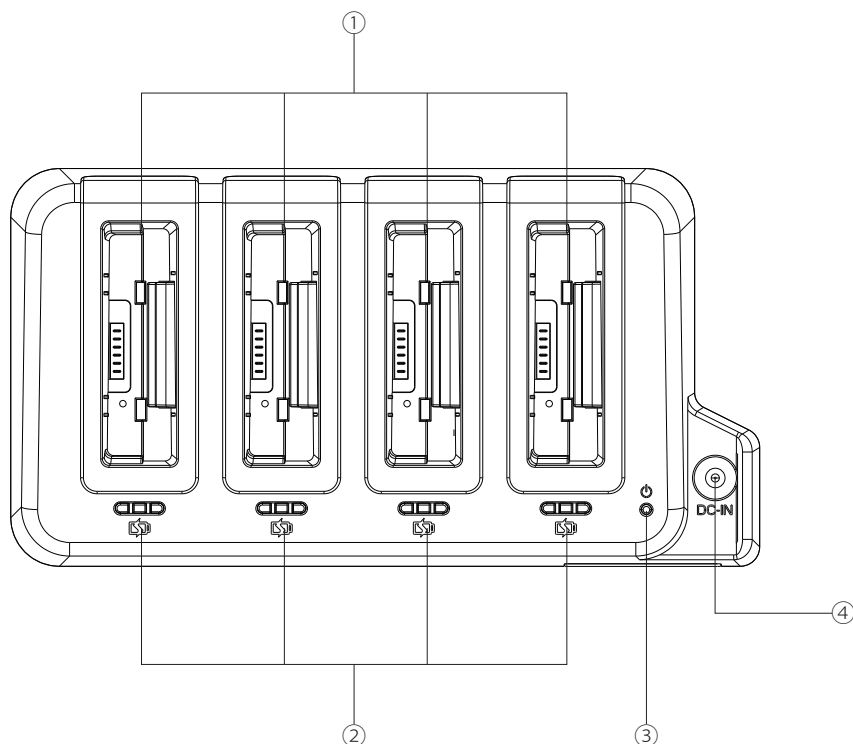
9. バッテリー充電台（オプション購入された場合のみ）

バッテリー充電台使用上のご注意

- ・ LT-MS08 シリーズ以外のバッテリーをバッテリー充電台に接続しないでください。
故障の原因となります。
- ・ バッテリー充電台にはバッテリー充電台付属の電源アダプターをご使用ください。
それ以外を使用されますと故障の原因となります。
- ・ バッテリーを接続する時は、バッテリー充電台の奥までしっかりと差し込んでください。
奥まで差し込まないと、充電されない場合がございます。
- ・ バッテリーを取り外すときはバッテリーをまっすぐ上方向に引っ張り取外してください。
上方向以外に無理な力を加えますと故障の原因となります。

バッテリー充電台各部の名称と機能

天面



番号	名前	説明
①	充電ポート	バッテリーを接続するポートです。 LT-MS08 シリーズ以外のバッテリーは接続しないでください。
②	充電インジケータ	充電のステータスを3段階で点灯します。 ・点灯ランプ1つ：充電量0～75% ・点灯ランプ2つ：充電量75% ・点灯ランプ3つ：充電量100%
③	電源インジケータ	電源アダプターが正しく接続されているときにランプが点灯します。
④	電源コネクタ	バッテリー充電台付属の電源アダプターを接続して電力を供給します。

10. トラブルシューティング

問題	対応
バッテリーが充電されない	<ul style="list-style-type: none"> 電源アダプターが正しく接続されていることを確認してください。 バッテリーが正しく取り付けられていることを確認してください。
画面が表示されない	<ul style="list-style-type: none"> 本機がスリープ状態になっている可能性があります。電源ボタンを押し画面が表示されるか確認してください。 画面の輝度が低くなっている可能性があります。輝度をあげてみてください。
画面が突然消え、電源ランプも消灯した	<ul style="list-style-type: none"> アダプターが正しく接続されていることを確認してください。 本機をバッテリーで使用している場合、バッテリーが切れた可能性があります。バッテリーを充電してください。
ワイヤレス LAN の電波が弱い	<ul style="list-style-type: none"> 電波の範囲外の可能性があります。本機をルーターなど接続する機器の近くに移動させて確認してください。 本機の近くや、接続したい機器の近くに、電子レンジやコードレスフォンなど、ワイヤレス LAN の電波と干渉する機器が無いか確認してください。それらの機器があった場合は、本機やワイヤレス LAN 機器から、それらの機器を離してください。
他のワイヤレス LAN 機器に接続できない	<ul style="list-style-type: none"> 本機のワイヤレス LAN 機能がオンになっているか確認してください。 ネットワーク内のすべてのワイヤレス LAN 機器で、SSID の設定が同じであることを確認してください。 本機を再起動してみてください。 IP アドレスやサブネットマスクなどネットワークの設定が正しく設定されているか確認してください。
Bluetooth で他の機器に接続できない	<ul style="list-style-type: none"> 本機と接続先の機器の両方の Bluetooth 機能がオンになっていることを確認してください。 本機と接続先の機器の両方の電源が入っていて、かつ、検出可能になっていることを確認してください。 接続先の機器と本機の距離が 10m 以内であることを確認してください。また、間に壁や大きな障害物がないことを確認してください。 本機と接続先の機器に互換性があることを確認してください。
GPS を使用するアプリケーションで位置情報が取得できない	<ul style="list-style-type: none"> GPS のカバーエリア外の可能性があります。屋外や、窓の近くに移動してみてください。 本機の近くや、接続したい機器の近くに、電子レンジやコードレスフォンなど、GPS の電波と干渉する機器が無いか確認してください。それらの機器があった場合は、本機をそれらの機器から離してください。
音が出ない	<ul style="list-style-type: none"> 音量ボタンで、本機の音量を調整してみてください。 外部のオーディオ機器を使用している場合は、正しく配線されているか確認してください。
電源ボタンを押しても反応しない	<ul style="list-style-type: none"> リセットボタンを押して端末をリセットしてください。

